三重教務所通信

2023 6月号

発行人:三重教務所長　安田　雅
〒511-0073　桑名市北寺町 47　教務所開所時間 平日 9:00～17:00
☎:0594-21-8000　FAX:0594-21-8010
☞　三重教務所 E-mail　mie@higashihonganji.or.jp
桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス　http://mie-betsuin.com/　☞

慶讃法要を厳修

50年ぶりの法要が無事円成。三重教区から様々な催事に参加

三重教区団体参拝

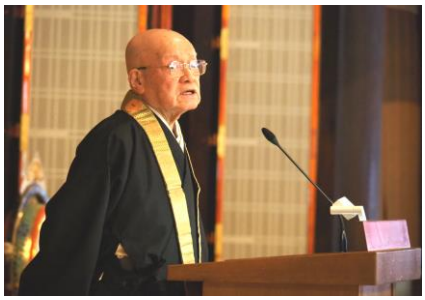
３月２５日から４月２９日（讃仰期間４月９日～１４日）まで、真宗本廟において宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要が厳修されました。先月号の当通信でもお知らせしましたが、三重教区からは、団体参拝バス３６台、１，０３１人が法要に遇われました。

第１期法要及び第２期法要の結願法要では、全国から集まった稚児とともに参堂列が行われ、また、白洲の舞楽台にて「舞楽」が行われました。

また、三重教区からは、４月１７日（月)に、石﨑明美氏（四日市組信光寺門徒）が慶讃法要感話を、４月１８日（火）に大橋宏雄 氏（中勢１組 淨願寺）が慶讃法要法話を、４月２９日（土）の御満座では、池田勇諦氏（桑名組西恩寺前住職）が法話をされました。

結願の法要については、現在においても YouTube の「東本願寺・慶讃法要ライブ配信〈解説付特別番組〉」にて視聴が出来ます。

大橋宏雄 氏（法話）



池田勇諦氏（法話）

石﨑明美氏（感話）

「了華会」の作品

法要期間中は、高廊下・参拝接待所ギャラリー・視聴覚ホールにて「慶讃テーマ館」が開催されました。親鸞聖人のご生涯をたずねる「宗祖親鸞聖人」展や、井上雄彦氏（漫画家）による屏風「親鸞」の展示、早川鉄兵氏（切り絵作家）による切り絵、「正信偈」書写コーナーや「慶讃法要記念俳句」展示、桂小春團治氏による真宗落語の寄席が行われました。

三重教区からは、視聴覚ホールにて、歓迎花が展示され、員弁組了圓寺「了華会」の作品が花を添えました。

期間中に京都国立博物館で開催されていた「親鸞展」には、１０万人の来場者を数え、教区内各組からも団体参拝にて多くのご門徒が訪れました。

また、京都南座では、五木寛之著『親鸞』（講談社刊）より「－青春篇－」を原作として、特別講演「若き日の親鸞」が上演され、教区保護司会・教区仏教青年会での団体観劇をはじめ、教区内からも多くの方が観劇されました。

なお、４月２０日の法要にて、教区合唱団「ひかり」が慶讃テーマソングを披露され、その様子を代表の樫とし子氏より寄稿いただきました。

また、５月５日に開催された慶讃事業「子どものつどい in 東本願寺」では、三重教区のブースを設置するとともに、三重教区から団参バス３台で参加いたしました。

4/20 慶讃テーマソング披露

今回、合唱団「ひかり」は宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要という大きな節目の年に、慶讃テーマソングを披露することに参加しようと声が上がりました。阿弥陀堂・御影堂で同時に合唱するということで、ひかりだけでなく、縁ある方と共々と歌おうと教区の坊守さんにも呼び掛け、チラシを研修会毎に配り、動き始めました。さらに団員が所属している四日市の合唱団「コールアンサンブル　サルビア」さんも願いに賛同くださり、合唱の輪が広がりました。昨年１１月から本格的な合同練習が始まりました。発表当日４月２０日、バス２台早朝５時４０分出発、ひかり２５名、教区坊守有志１０名、サルビア１６名で出発。「真宗宗歌」、慶讃テーマソング「今日も明日もあなたもわたしも」を披露、阿弥陀堂　指揮　金森了悟 氏　歌２０名　御影堂　指揮　岩田理恵氏　歌３１名。今回こうしていろんな方々と共に、ご本山で三重教区として法要に参加することが出来ました。　（合唱団「ひかり」代表 樫とし子）

5/5「子どものつどい in 東本願寺」三重教区団体参拝

テーマ:であう　つながる　ともにある

去る５月５日（金）、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業「子どものつどい in 東本願寺」に三重教区団体参拝を企画し、６９人の参加者の皆様と上山しました。

北勢（桑名別院・鈴鹿サービスエリア）・南勢（無碍光寺）にそれぞれ集合し、早朝でしたが、にぎやかに各地を出発しました。

オープニング

本山に到着し、まず最初の日程はオープニングに始まります。鸞恩くん・蓮ちゃん・あかほんくん、そして佐賀枝夏文氏が登場し、トークで御影堂を盛り上げました。

日程中は、普段入ることのできない御影堂の内陣に入って見学をしたり、境内では『遊ぶース』が設置され、全国から集ったスタッフたちが「人形劇」や「うちわづくり」など、色々なゲームや体験コーナーがありました。同じゲームに何度も挑戦する子どもたちもいれば、景品のお菓子を両手いっぱいに持つ子もいました。三重教区児童教化連盟でもブースを設置し、「ウォークラリー」や「福島の子どもたちを三重へプロジェクト」のグッズ販売を行いました。何度もウォークラリーに挑戦する子や、グッズのＴシャツを購入してその場で着用する方もおられ、とても賑わいました。

前日までは雨が心配されましたが晴天にも恵まれ、全国からは約 4,000 人のお友だちがつどいました。参加してくれたお友だちは「子どものつどい in 東本願寺」でどんなであいがありましたか？

三重教区「遊ぶース」

おつとめ

集合写真

○能登地震　救援金　口座

去る５月５日に石川県能登地方を震源とする最大震度６強の地震が発生しました。同地域においては、昨年６月にも地震で被災されており、このたびも能登教区の珠洲市を中心に被害がもたらされました。次のとおり被害の報告が寄せられております。

宗派においては、すぐさま情報収集にあたり、能登教区に対し災害見舞金 200 万円を給付いたしました。

三重教区においては、三重教務所及び桑名別院に救援金箱を設置し勧募しています。

また、宗派では下記の口座にて災害救援金を募っております。皆様の温かいご支援ご協力をお願いいたします。

【救援金口座】郵便振替口座番号 00920-3-203053

【加入者名】真宗大谷派

※通信欄に「能登地震」とご記載ください。

▼寺院被害状況　(2023 年 5 月 8 日現在)

≪能登教区≫

被害寺院数　約 35 ヵ寺

【主な被害】建物の傾き、壁・柱・瓦の損壊、宮殿・仏具倒壊、墓石倒壊等

○三重教区「差別と人間を考える」協議会委員及び同研修員について

任期満了による三重教区「差別と人間を考える」協議会委員及び同研修員の改選が行われ、次のとおり決定しましたのでお知らせします。

教区「差別と人間を考える」協議会

（任期２０２３年４月１日から２０２６年３月３１日）

氏名	組名	寺院教会名	役職	氏名	組名	寺院教会名	役職
林　恒男	桑名	明圓寺		鈴木　勘吾	四日市	法藏寺	会長
稲垣　順一		正覺寺		柴田　徹		歴明寺	
岡田　寛樹		立勝寺		野﨑　紘一	中勢１	淨願寺	
浅野　武男	長島	仁了寺	常任委員	原田　浩憲		託縁寺	
岡本　寛之		源盛寺		藤本　愛吉	中勢２	正寶寺	
白木　俊正		了清寺	常任委員	松下　至道	伊賀	圓明寺	
員辨　暁	員弁	圓光寺		小幡　智博	南勢１	西光寺	常任委員
石川　真澄		西方寺		酒井　誠		道淨寺	
片山　寛隆	三講	相願寺	常任委員	西寺　真也		本覺寺	
伊藤　康		善行寺	常任委員	米澤　典之		常照寺	副会長
訓覇　浩	三重	金藏寺		山崎ゆかり	南勢２	福壽寺	常任委員
藤堂　正隆				藤井　慈等		慶法寺	
大賀　光範		淨圓寺					
金津　正嗣		三嶽寺	常任委員				
中川　和子		常願寺					
坂口　愛		長傳寺	常任委員				

○ 公開講座「社会から問われる真宗門徒の私」開催

５月１５日に「社会から問われる真宗門徒の私」と題して公開講座が開催され、高山教区 不遠寺住職 四衢亮氏にご出講していただきました。

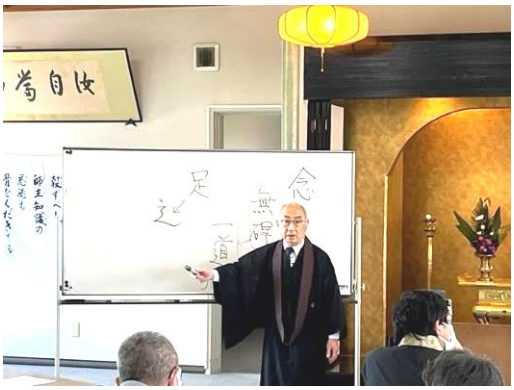
講座では始めに問題提起として、様々な諸問題が取り巻く現代社会において私たちは何処に身を置き、何が課題なのかということがはっきりしないまま流されている身であるということ。そんな私に親鸞聖人が開かれた浄土真宗が何を開いてくださるのかということを通して、社会から問われている宗教のあり方を尋ねていきたいと押さえられました。

問題提起後は、今回の講義の柱として歎異抄第７章の「念仏者は無碍の一道なり。そのいわれを～無碍の一道なりと云々」の部分を『浄土論註』や『正信偈』「證知生死即涅槃」を挙げて説明していただき、念仏というものは私を歩ませて歩みを開くものであり、障りがなくなっていく歩みであることがすなわち私たちの魔界外道からの開放であると押さえられました。また、障りとしての魔界外道を承知するうえで業報・罪悪について、業報とは私たちの行為であり、仏教では身の行為も業と話し、〝ことば〟を使うことで伝え、経験し、考え、想像することで心を持ち、ことばで人を傷つけたり差別したりするものであること。罪悪とは、罪悪を持つ人間に法として報いを説いて縛るものであると。この二つによって縛ったり脅したりすることが魔界外道だとご説明いただきました。

更に聖人の時代において、人間が本来の仏教を失っている当時の仏教のあり方、宗教のあり方を悲嘆述懐し、真宗でいう真俗二諦の考え方と善鸞の絶縁で政治的勢力を頼みとして教えを広めようとしてはならないと仰せになっていたこと。また現代のカルト性の強い集団・教団が使うマインドコントロールに触れられ、業報感で言われると人は弱く、弱点を突かれて縛られて閉じ込められる。弱点を突き、閉じ込められていく様を魔に魅入られて魔になっていくと表現されました。そこから、二つの時代において差別や力の抑圧等が肯定されるわけではなく、自分自身の事実をはっきり知らされると同時に、その事実を肯定されるわけではないということ。問題と見えるがいつの間にか肯定されると変質してしまう怖さについてご説明いただきました。

今回の講座をとおして、無碍の一道という自分の課題として真実に照らされ、自分の事実を事実として問題としながら、はっきりと目を覚まし歩み続けることで浄土が開かれていく、この歩みをするものが真宗門徒だと改めて受け止めることが出来ました。また、現代社会で問われていることを教えを通してはっきりと課題としていただいていくということが、今日のテーマであることも確認できました。

（社会教化小委員会委員　原田はるみ）



講師の四衢亮氏

○ 三重教学研究室長及び主任研究員について（報告）

去る５月２５日に開催された教区会参事会において、任期満了による三重教学研究室長及び主任研究員が下記のとおり承認されましたので、ご報告いたします。

三重教学研究室長　藤嶽明信（三講組敬善寺）
同 主任研究員　髙科　行（長島組仁了寺）

○ 東海連区親睦ゴルフ大会開催【三重当番】

去る５月２４日、第２８回目となる東海連区親睦ゴルフ大会が、いなべ市の「ナガシマカントリークラブ」で開催されました。

コロナ下により、４年ぶりの開催となった今回の大会には、東海連区各教区より４６名が参加し、三重教区からも１７名の僧侶・ご門徒が参加されました。

当日は澄み渡るような青空のもと、各々日頃の練習の成果を存分に？発揮し、プレーを楽しみました。

開会式でルール説明を行う加藤満氏

プレー終了後には表彰式が開催され、長島組仁了寺門徒の加藤博氏が優勝しました。

来年は、大垣教区当番で開催が予定されていますので、今回参加できなかった方も是非参加ください。

研修会（公開）のおしらせ　詳細は、三重教区・桑名別院ホームページを参照ください

育成員研修会

◎期　間　６月７日（木）１０：３０ ～８日（木）１１：３０
◎場　所　三重同朋会館３階講堂　※　Zoom を使用したオンライン併用
◎講　師　梶原敬一 氏（真宗大谷派教学研究所元嘱託研究員）
◎テーマ　「僧伽に召される―同朋会運動の願い」
◎対　象　住職・教会主管者・坊守・寺族・門徒
◎参加費　３，０００円　他弁当代及び布団代等実費
◎申　込　三重教区・桑名別院ホームページ：https://mie-betsuin.com/　から申し込みください。
※　詳細は三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

真宗門徒の集い　（三重教区坊守会主催）

◎日　時　６月１４日(水)１３：００～１６：００
◎会　場　柿安シティホール(桑名市民会館)小ホール
◎講　師　酒井義一 氏(東京教区存明寺住職)
◎講　題　「人は皆誰もが求道者―お寺の取り組みの中で感じていること―」
◎参加費　無料（どなたでもご参加いいただけます）
◎申　込　お手次の寺院にお申し込みください。
※　詳細は各組の委員さんにお尋ねください。
また、先月号に同封のチラシを参照ください。

同和問題に取り組む三重県宗教教団連帯会議（三重同宗連）前期研修会

◎日　時　６月１９日（月）１４：００～１７：００
◎場　所　三重同朋会館３階講堂（桑名市北寺町 47）
◎内　容　映画「ドキュメンタリー沖縄戦」視聴及び太田隆文氏（映画監督）講演
◎参加費　無料
◎申　込　三重教務所まで電話・メールにて申し込みください。
※　詳細は同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

聖典基礎講座

◎日　　時　６月２０日（火）１３時３０分 ～ １６時３０分
◎会　　場　三重同朋会館　※　Zoom を使用したオンライン併用
◎講　　師　高柳正裕 氏（学仏道場「回光舎」舎主）
◎テ ー マ　「仏に遇うー真実の自己・世界に遇うー」
◎参 加 費　３，０００円（年間５回分）
◎申し込み　三重教区・桑名別院ホームページ https://mie-betsuin.com/ から申し込みください。

「是旃陀羅」問題に関する教区学習会

◎日　時　６月２１日（水）１４時 ～ １６時
◎場　所　三重同朋会館３階講堂
◎講　師　訓覇 浩 氏（三重組金藏寺住職）
◎参加費　無料
◎申　込　三重教区・桑名別院ホームページ：https://mie-betsuin.com/ から申し込みください。
※　詳細は、三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

教研公開講義（浄土論註概論）

◎期　間　６月２２日（木）１４：００～２０：３０
２３日（金）　９：００～１６：００
◎場　所　三重同朋会館３階講堂
◎講　師　山田恵文 氏（三重教区 安正寺住職）
◎参加費　３，０００円　他食事代等実費
※　来月号の当通信に、チラシを同封します。

6月のテレホン法話

６月　１日～１５日 ･･･伊藤 剛士　（桑名組 晴雲寺衆徒）
６月１６日～３０日 ･･･伊藤　　修　（長島組 寶林寺門徒）

心をひらく　　２４時間 いつでも どこでも テレホン法話
☎（0594）23-6191

【敬　弔】生前のご功労を深謝し謹んで哀悼の意を表します。

三重組　明福寺　前坊守　加藤 美沙子（２０２３年５月８日寂）

Ｄｉａｌｏｇｕｅ（ダイアローグ・対話）　― 教区教化委員会報告―

○ 教化推進総務会

・５月１１日に会議を開催した。協議内容は、「次期教区教化テーマ及び教区教化研修計画概要について」。次年度においては、教化体制を含む現在の教区教化事業について、見直し・点検を重ね、３カ年をかけて抜本的な「教区教化機構の再構築」を行うよう協議が重ねられている。会議では２０２３年度から２０２６年度までの３年間に渡る教区教化事業計画策定についてイメージ図を基に協議し、「次期教区教化テーマ及び２０２３年度教区教化研修計画概要（案）」を確認した。今後、これらの内容については、６月１日に開催する教区教化委員会に提出する予定。

○ 特伝推進本部

・５月１０日、５月２４日に本部会議を開催し、２０２３年度以降の教化の取り組みについての協議、２０２２年度事業報告・３年間の事業の振り返りを行った。
・５月７日（日）、中勢 2 組法因寺を会場に、中勢２組特伝本講座第３回目が開催された。
・５月１９（金）～２１日（日）、南勢２組２部特伝真宗本廟研修が行われ１９名の受講者が参加した。

○ 寺族門徒研修小委員会

・５月１６日に会議を開催した。協議内容は、法語ポスターの制作・育成員研修会・３年間の総括点検について。法語ポスターは、慶讃事業「真宗の仏事の回復に資する資料の作成」として制作し、今年度も昨年度同様５種類のポスターを制作するため、５つの法語選定と、それぞれの筆耕者について協議し決定した。このポスターは、８月初めの『教務所通信』にて全寺院へ送付する予定。次に、６月７日～８日に開催する「教区育成員研修会」について、委員の役割分担を確認した。今回は講義後の座談会を開催するなど、コロナ前の形式にできるだけ戻す形で計画している。また、３年間の当小委員会の点検総括を話し合った。

○ 青少幼年教化小委員会

・５月９日に会議を開催した。来年度からの教化委員新体制について駐在から説明を受け、ディスカッションを行った。例年の事業を停止することが前に出てしまっているが、当委員会はほぼ外郭団体を抱えているため、例年通りの事業を進めてもいいというイメージだが、実際はどうなっていくのかわからない。見直し点検は事業を勧めながらではないと学びや出会いがないのではと危惧している。その一方、ダイナミックなテ

コ入れをしていかないと変わってはいけないことも事実。教区慶讃法要は法要自体が目的ではなく、法要を通して私の歩む方向性にどう影響してくるのかということを念頭に置かなければならない。▽青少幼年だよりは原稿が揃ったので、これからレイアウトを決めていく。▽５月５日に本山での「子どものつどい in 東本願寺」三重教区団体参拝は、６９名の参加があったことは大変喜ばしい。その反面、寺院関係の親子が多数だったため一般の方への周知や参加奨励というものは中々厳しいものがあり、宗門や寺院の課題であると思う。▽３年間ありがとうございました。

○ 教学研究室

・５月１１日月例会を開催。研究生７名が出席。藤嶽室長の講義は『観経』序分「定善示観縁」についての３回目が行われた。内容は『観経疏』序分義に則して「釈尊の説法を『仏説』として聞くことの困難さ。迷と覚の質の違い」について詳説され、それを受けて攻究、座談を行った。

・５月２６日『「是旃陀羅」問題に関する公開学習会』第４回を開催。対面・オンラインを含め１５名が参加。講師の中山善雄氏（教学研究所元研究員）は『観経』序分の概観として「月光大臣が『母を殺す者はクシャトリアの位を汚す秩序背反者であり、不浄なる者『旃陀羅』である』と述べることによって、王宮（衆生）の善悪が無根拠であり、権力に基づく「秩序維持」だけが基準となっていることを示しています。そして秩序維持に則る者こそが善人であり、その善人性は秩序背反者＝悪人を創り出すことによってのみ確保・維持されることを表しています。悪人排除によって成り立つ人間（世間的善人）とは何か、世間の善悪、浄不浄とは何かを問うことが『観経』序分の主題となっていきます」と提起された。

○ 教区坊守会

・５月１５日、東海連区坊守研修会の事前準備を行った。

・５月１７日、東海連区坊守研修会を開催した。昨年は、コロナ下の為、開催教区以外はオンラインでの開催となった為、全ての教区の坊守が揃うのは４年ぶりとなった。参加人数は２１４人。オープニングとして合唱団ひかり（＋坊守会有志と有縁の合唱団）による真宗宗歌をはじめ、親鸞聖人ご和讃などの仏教讃歌を披露していただいた。その後、講師の瓜生崇氏による講義（講題「救われたい私～歎異抄第２章～より」）をいただき、その後、質疑応答も活発に行われた。終了後、教区ごとに記念撮影を行った。

・５月２４日、東海連区坊守研修会の反省と次期役員への引継会議の内容を検討した。

・５月２９日、次期役員への引継会議を開催した。

・次回は６月５日に役員会を開催する予定。

【東海連区坊守研修会にご参加いただいた皆様へ】

研修会の感想をまだ書かれていない方は右記 QR コードを読み取っていただき、感想をどうぞよろしくお願い致します。

今月の法語

人生が愚痴の対象になるか
それとも道場として受け取れるか
仲野良俊（1916-1988）

晴耕雨読（教務所員から）

教務所主計：窪田昌展

ウサギを飼っています。５年ほど前に息子が誕生日プレゼントで飼いたいというので、モレラ岐阜のペットショップに家族で行き、その中で全員の意見が一致したかわいい茶色のミニレッキスを我が家に迎え、名前はピーターと名付けました。

以前に学校からウサギを１週間ほどあずかったことがあり、その子がとてもおとなしかったので、ウサギを飼うのはそんなに難しくないだろうと考えていました。しかし、我が家に迎えた元気いっぱいの雄は、そんな僕たち家族の甘い見通しはあっさりと覆してきました。

ゲージの掃除をしているとおしっこを飛ばしてきたり、部屋を散歩（うさんぽ）している時に、妻のふくらはぎに突然噛みついたときは、妻が悲鳴を挙げて足をあげても、ウサギは噛みついたまま離さず、宙に浮いていた光景は今でも忘れられません。（４年以上経った今でも、噛みつかれた跡がうっすら残っています。）その日から我が家のウサギへの警戒度はマックスとなり、うさんぽをするときは必ず長ズボン・靴下が必須になりました。

これはしつけが必要なのかと本を読んでみたりして、おしっこを飛ばした時に、床を手で叩いて叱りつけてみましたが、逆に足ダンをして反抗されたり、いろいろな方法で何度やってもうまくいかず、いつの間にかしつけは諦めてました。

そんな暴れん坊ですが、唯一心を許してくれるのは、頭から背中にかけて撫でられる時で、いつもお座りをして撫でを求めてきます。撫でられている時の彼は本当に気持ちよさそうに目をつぶっており、こちらも癒されます。最近は、必要なのはしつけではなく、愛情なのかなと思うようになり、彼も年を取ったせいか以前よりは随分おとなしくなり、お互いの距離感も良い感じになってきたと思っています。

MONTHLY CALENDAR　三重教区６月行事予定表 Mie MONTHLY CALENDAR

日	曜	行事内容
1	木	教化委員全(総会)13:30-
2	金	教区同推協総会 9:30-
3	土	
4	日	
5	月	坊守会役員会 10:00- ／ 坊守会新役員会 13:30-
6	火	子ども会開設サポート企画要員会議 13:30-
7	水	育成員研修会(～８日まで)
8	木	児連ジュニア大会テーマ座談会 14:00-
9	金	⑤　中勢2組特伝本講座(本廟研修～11日まで) ／ ⑤南勢2組一部特伝本講座(本廟研修～11日まで)
10	土	
11	日	
12	月	中高生の集い会議 13:30-(於:法受寺)
13	火	教区保護司会総会 15:00- ／ 特伝講師補導研修会 16:00-
14	水	真宗門徒の集い 13:00-(於:柿安シティホール)
15	木	
16	金	合唱団「ひかり」練習日 13:00- ／ 特伝本部会議 13:30-
17	土	
18	日	
19	月	三重同宗連総会及び前期研修会 13:00- ／ 児連月例会・総会 13:30-
20	火	⑤ 聖典基礎講座 13:30-
21	水	差別と人間を考える協議会公開講座 14:00-
22	木	教研公開講義(～23日まで)
23	金	
24	土	同推協教区特別研修会 10:00-(於:南勢1組本宗寺)
25	日	第42回真宗公開講座(中南勢公開講座)14:00-(於:三重県総合文化センター)
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

①　ご坊さんだより　②教研公開講義チラシ　③2023年度テレホン法話チラシ